

「この宝を土の器の中にもっている」

この7月で、アメリカに来て25年、そして、JCCNJの牧師になって20年が経ちます。25年前には考えてもいなかった道に導かれて、今ここにあること、とても不思議な思いがします。聖書のこの言葉を思い出させられます。



「人の心には多くの計画がある、しかしただ主の、み旨だけが強く立つ。」箴言19:21

この国での一步を踏み出したのはサンディエゴ。アトランタの大学に行きたいと思って願書を出していたのですが受け入れられずに、とにかく英語が上達するようにと他の学校に入って、その年の終わりに、アトランタで学んでおられた先輩や先生方のご尽力もあり、一度は「I regret to tell you…」で始まる手紙を受け取った大学から入学を許可してもらって、アトランタへ。そこで1年半学んだ後、また道が閉ざされて、かろうじて入学許可を出してくれた大学に進むために、何も知らない、どこにあるかも全く知らなかったニュージャージーにやってきたのが、1994年でした。そこで JCCNJ に出会って、1997年から牧師として奉仕させていただいています。

幾つもの閉ざされた道。恐れたり、不安だったり、逃げ出したくなったりした日々のことを思い出しています。しかし、神様が開いてくださった道には戦いがあっても、同時に祝福があることをたくさん見せていただきました。

今年の8月からは新しい3年の任期が始まります。ここまでの歩みを振り返ると、自分の足りなかったこと、思い通りに進まなかった「失敗」の数々など思い出します。しかし、その一方で、そんな中でも、神様がなしてくださったひとつひとつのことに感謝が溢れます。

「わがたましいよ、主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」詩篇103:2

「しかしわたしたちは、この宝(筆者注: イエス・キリストのこと)を土の器の中にもっている。その測り知れない力は神のものであって、わたしたちから出たものでないことが、あらわれるためである。」第2コリント4:7

元々、20年前、この教会の牧師になった時に与えられた聖書の箇所は、5つのパンと2匹の魚でイエスが5000人の人々を養われるところでした。手元にある5つのパンと2匹の魚を見て、「こんなもの、こんなに多くの人々がいるのに役に立たない」と言った弟子たちに対して、「それをここに持ってきなさい」と言われたイエスの言葉に弟子たちが従った時に、その5つのパンと2匹の魚が用いられたように、私も自分自身を主に用いていただこうと思わされて立ち上がったのでした。神様はその約束通り、ここまで豊かな御業をしてくださったのです。ですから、これからの歩みでも、神様の力を信頼して歩いていこうと思います。神様が素晴らしいことをしてくださるのを共に待ち望んでいきましょう。

「何故またこのような時なのだろうか？」

大橋徹平

何故またこのような時なのだろうか？

仕事や出張続きで忙しく、時間が無い訳では無いのですが、物事が思ったように進まず「神様、何故？」とと思っている時に限ってこのような原稿の依頼を受けました。このまま忙しいのを理由に断ろうか、とも思いましたが、信仰が揺らいでいる(?)からこそ、神様が「もう一度信じようと思った時の事を思い出してごらん」とまだ地盤が緩い私に手を差し伸べてくれたのかも知れません。



私は生まれたのはスペイン・バルセロナ、育ったのはアルゼンチン・ブエノスアイレスと18歳までずっとカトリックの国に住んでいたため、キリスト教は非常に身近なものでした。憧れのサッカー選手もピッチに入る時には十字を切っていましたし、タクシーの運転手も教会の前を通る度に十字を切るのを目にしていました。当時は「なんか格好良いなあ」と思いながらも、自分以外の事に目を向ける事ができず結局キリストを信じるには至りませんでした。健全な学生生活を日本で過ごし、社会人になりアメリカに赴任した頃に、妻と出会い、その時に再びキリスト教に出会いました。

ただ今回は憧れではありませんでした。

結婚当初、妻と意見が合わなかったりで色々喧嘩が絶えなかった時期があったのですが、その際に妻が教会に連れて行ってくれと私に言ったのです。運転に自信が無かった彼女が喧嘩している相手である私にそこまでお願いするという事は相当に切羽詰まっているに違いない、と嫌々ながらもメイウッドの教会に来た事を覚えています。当時は、「中に入ってしまったら二度と出て貰えなくなるのではないか?」「中に入ったら全員が妻の味方で私は敵としてやっつけられてしまうのではないか?」と恐れ、一人駐車場で本を読みながら礼拝が終わるのを待っていた事を思い出します。

雪解けのきっかけは教会メンバー主催のバーベキューでした。まさに花より団子なのですが、美味しいお肉につられて参加してみると、とても面白い方々と知り合う事ができました。お酒が進むにつれ色々な話になり、有名大学の卒業生や某宇宙研究所の元研究員といった聡明な方々と「いかに神様は存在せず、聖書は律法のために作られただけの書物であるか」を熱く議論したりしました。酒宴は遅くまで続く事もありましたが、議論は尽きず、更には次回の議論のネタのために、あえて聖書を開いてみたりするしまつでした。「神はわれらの避け処 また力である。詩篇 46:1」の「さけどころ」って「酒処」

としか見えていなかった時代です。今となっては酒のツマミの為に聖書を読んでいて、と非常に申し訳ないのですが。。

そのような私でしたが、次第に変化が起こってきました。

クリスチャンの方々と深く関わるにつれ、非常に辛い(?)大変(?)な思いをするようになりました。それは聖書に書かれている「生き方」を知れば知るほど、いかに自分が理想から遠い、「なっていない人間」という事を突きつけられる事です。もし聖書やキリスト教と出会っていなければ、神様はおろか、隣人を愛そうともしないだろうし、まして自分を嫌う人の為に祈ろうなんて考えつきもしないと思います。しかし、それを知ってしまったがために、自分がどれほど「嫌な奴」なのかが事あるごとに突きつけられるようになってしまったのです。一方で、私の身近にいるクリスチャンの方々と接していると、羨み、憧れのような感情が出てきたのです。どのようにしたら、あのようになろうか、優しく、愛に溢れて生きていけるのだろうか？答えはわかっていたのかと思いますが、それでも目を逸らし続けていました。心のどこかで、クリスチャンになったほうが大変、ならない方が良いのではないかと思っていました。

しかし、やはり私は弱い人間ですし、突っ張りながらも神様に頼り、祈らずにはいられない時が多くありました。切羽詰まっている時には、「この祈りが通じれば信じます」と禁断の取引までしていました。しかも、何度もです。もちろん全ての祈りは通りませんが(特に飛行機のアップグレード)、それでも多くの祈りは神様に届き、祝福を得る事ができたように思います。ただ、私はズルく、それでも色々と「言い訳」をして約束を反故にしていました。

「門を叩けば開かれる」と聖書に書かれていますが、毎回神様へのピンポンダッシュをしていた訳です。

それでも神様は機会あるごとに、私に「勇気を出す」、つまり「信仰告白」のきっかけを与えて下さいました。

中でも最も大きなのは、妻ですが(そう書けと言われた訳ではありません)、2 番目は NJ に戻って来た事です。「それでもやっぱり神様を信じない言い訳シリーズ」の中に、まさかまた NJ に仕事で戻る事は無いだろうと思って、「僕は洗礼を受けるなら錦織先生からしか受けたい」と公言していました。誤解なきよう改めて書きますが、もちろん、先生から授かりたかったのですが、ただ、状況的には不可能なのだから洗礼は受けられない、という言い訳でした。でも実際神様はそんな難しいと思った状況も簡単に覆されました。そして、自分が最も慣れ親しんだ教会に戻ってきて、素直に皆さんと色々な会話をすることができて、疑問をぶつけられたり、色々とお後押しして頂いたり。修養会に参加するキッカケを作って頂いた妻や友人も、参加がキッカケで色々とお話・考えた事も、帰ってから夢で神様から直々に「さあ、そろそろなるか！」と言われた事も。今考えれば、全て「勇気を出しなさい」「そろそろ突っ張るのはやめなさい」という優しい後押しだったのです。

今まで散々突っ張って来ましたが、それでも見放さず、愛を持って色々とお与えて下さった事にしっかりと目を向けて感謝し、自分一人の力では何一つできていなかったと、降参！と思われされました。

こうして私は「ただの罪人から、目指すべき姿を見つけてしまった罪人」に、「ただの迷い人から、行くべき場所を見つけてしまった迷い人」になったのです。

クリスチャンになってみて

すっきりしました(笑)。やっと聖餐式でまわってきていたあの白い物体と赤い液体を味わう事ができました。初回は不謹慎ながら、乾杯までしたくらい待ち望んだ瞬間でした。また、今まではコソコソとお祈りしていましたが、堂々とお祈りできるようになりましたし、もごもごと「アメン」と呟いていたのも、「アーメン」と言えるようになりました。

しかし、人間的にはどうなのでしょう。変われている実感、自信はまだ無いのが本音です。「前より輝いている」と仰ってくれる方もいらっしゃいますが、あれ？前頭部が後退？はたまた脂ぎっしりになってる？と傷つきますし、「柔らかくなってる」とか言われても、ん？顔が太ったから？お腹？？とへこみます(お腹とは裏腹に)。毎朝通勤時にアプリで聖書朗読を聴いているのですが、その後にある短いメッセージを聞きながら、歩きスマホをしている人に舌打ちしたり、タイミング的に譲れば良いのにあえて自分の歩調を緩めなかつたりして、やった瞬間に後悔しています。折角の有難いメッセージも効果 0.1 秒しかもたない嫌な奴です。

しかし先日の上海出張の最終日の事です。朝 3 時まで仲間と飲んでしまったのに早朝ランニングに出たのですが、そこで初めて「あーなんて素晴らしいだろう！神様に感謝！」と自然に出て来たのです。PM2.5 の中を前日 3 時まで飲んで走った身体の細胞が勝手にそんな事思うはずがないと思いませんか？

こういう幸せな体験が起こったり、常に拠り所(さげどころ)がある事で思考に余裕が出て来ました。感謝できるようになりました。また、例えば仕事で偉くなりたいたい、もっとお金を貰いたい、みんなに誉められたい！とかしか考えられずに他人のせいにしてた事も、今はこれがご計画で、このご計画には意図がある。この中にある私の使命・役割は何なのか？と考えられるようになりました。これが出来る事で、怒る事が大分少なくなりました。もちろん稀に、怒る事が私の使命だ！と怒って後悔する事もありますが、私がどう喜ぶか、上司が喜ぶか、という単純な尺度では無く、神様が喜んでくれる私の役割は何か？を基準に動けるようになりました。これはすごく大切な事だと思うのです。自分が与えられるものを与える。言葉にするとすごく簡単ですがとても難しい事です。しかも、人類のためにとか、地球のためにとかそんな小さな次元じゃありません。宇宙をも超えた、神様のためにはです。

そしていつかは、かつて自分が感じたように、「あの人は何故あんな素敵なんだろう？」と、私を引きずりこんで(導いて)くださった皆様のように、神様を信じて生きていく事の素晴らしさを言葉ではなく生き様で伝えていく事ができたらと思っています。

妻、そして皆様との出会いと神様の導きに感謝します。

*** 報告 ***

- ❖ 私たちの教会では日本国際飢餓対策機構を通して、現在2人の里子、ケニアのヘレンちゃんとフィリピンのナタニエル君を支援しています。子どもたちが学校に通えるように1人年間約480ドルの支援が必要です。そのために4月のイースターの前のレントの期間に里子支援献金を募ったところ\$1,415の献金がささげられました。このうち960ドルを二人の支援のために、残りの455ドルを日本国際飢餓対策機構のチャイルドサポーターの働きへお送りしました。皆様のご協力に感謝します。里子の二人の今後の歩みのためにお祈り下さい。
- ❖ 5月21日の礼拝には日本からクリスチャンライターの野口和子さんがおいでになり、ヨーロッパで雌雄鑑別師として仕事をしながら、共産圏も含め世界53か国をめぐる命がけでキリストを伝えた安部哲(あべ・さとし)さんのお証しをしてくださり、私達一人ひとりが与えられた場で、福音を伝えていくことの大切さを語っていただきました。
- ❖ 6月4日のペンテコステ礼拝で、小林周平さんが洗礼を受けられました。おめでとうございます！



- ❖ 6月18日はVan Saun Parkで野外礼拝をもちました。雨の予報が出ていたのでどうなるか心配されましたが、天気を守られて、午後からは晴れて暑くなるほど。礼拝とその後のバーベキュー、レクリエーションに合わせて90人前後の方々が集い、緑の中で礼拝を守り、楽しいひと時を過ごしました。



- ❖ JCCNJ 教会会堂取得のための積立基金は2017年5月末時点で\$569,591.20、日本円 ¥110,761です。各地からご献金下さっている皆様にご心から感謝申し上げます。

*** お知らせ ***

- ❖ 子どもたちのための JOYJOY キャンプが8月7日(月)~11日(金)に「ドレ♪ミ♪ファ♪ジョイ♪はずむ!凸凹おんがくたい!」というテーマでもたれます。今年はまだ定員まで余裕がありますので、今からでも申し込みます。またお友達にご紹介下さい。詳しくはこちらからチラシをご覧ください。
<http://jccofnj.org/wp-content/uploads/2017/04/joyjoycamp2017.pdf>
(アドレスは一行で入力して下さい)
- ❖ 錦織学牧師は2017年8月から3年間の新しい任期に入ります。7月30日の礼拝では新しい任期のための就任式を行います。
- ❖ 8月27日の礼拝は午後1時30分から「音楽礼拝」です。日本からトランペット奏者の戸部豊さんとご一家をお迎えして、賛美とお証しをしていただきます。是非お出かけ下さい。くわしくはこちらのリンクからチラシをご覧ください。
<http://jccofnj.org/wp-content/uploads/2017/06/ongakureihai08.27.2017.pdf>
(アドレスは一行で入力して下さい)
- ❖ 9月2日(土)~4日(月・祝)のレイバーデーの三連休に、JCCNJの修養会が持たれます。今年はミラノ賛美教会の牧師・内村伸之先生が「神の国マインドで生きる」というテーマでお話をしてくださいます。詳しくは教会のホームページから、チラシ・申込書を御覧ください。一次締切は過ぎましたが、今からでも参加を希望される方は錦織牧師(pastor.jccofnj@gmail.com)にご相談下さい。
チラシ：<http://jccofnj.org/wp-content/uploads/2017/04/retreat2017.pdf>
(アドレスは一行で入力して下さい)
申込書：http://jccofnj.org/wp-content/uploads/2017/04/retreat_app.pdf
(アドレスは一行で入力して下さい)
- ❖ 7月の第1週、8月のクロッキー教室はお休みになります。7-8月のJOYJOYキッズクラブ、JOYJOYシンガーズ、Ridgewood聖書を読む会はお休みになります。
- ❖ 礼拝のメッセージは英語に同時通訳されております。
- ❖ JCCNJでは郵送版に加えて、内容は同じですが、EメールでのPDF版の月報も発行しています。郵送からE月報への切り替えをご希望される方は、hisho@jccofnj.orgまでご連絡ください。なお、E月報にご登録頂きました方には、隔月発行の月報に加えて、狭間の月に、Eお知らせをお届けします。
- ❖ 教会のホームページ(jccofnj.org)が新しくなったのをご存知ですか?毎週の礼拝メッセージを始め、日々の予定、各集会の様子など、随時更新されています。ぜひご訪問下さい。
- ❖ 新しく教会公式 Facebook ページができました。アカウント名は Japanese Christian Church of New Jersey です。そちらも是非ご覧になって下さい。
- ❖ 当教会では、みずほ銀行麴町支店(店番号 021)に日本円の口座があります。(口座番号は、ニュージャージー日本語キリスト教会一般献金:1085657、ニュージャージー日本語キリスト教会 会堂建築献金: 1085665 です。

